

コンパニー・ジェネラル・デ・ゼタブリスマン・ミシュラン
2019年3月31日期末
第1四半期業績

2019年第1四半期：困難な市場環境において、ミシュランは堅実な価格ミックスおよび新規買収事業による力強い貢献に牽引されて、売上高 58 億ユーロ、9.3%の増加（為替レート変動の影響を除外した場合）を発表。

2019年のガイダンスを確認。

- 第1四半期は、困難な市場環境においてグループによる強靱なパフォーマンスを上げ、販売量はわずか0.5%の減少となりました。
 - 乗用車・ライトトラック用タイヤ：直需需要の減少および欧州の市販市場がやや落ち込んだことに大きく影響を受けた環境下で、市場シェアを維持
 - トラック用タイヤ：やや縮小している市場において、新規サービス提供およびソリューションの開発のおかげもあり、予想通り販売量の伸びは引き続き堅調
 - 特殊タイヤ：第1四半期は鉱山用タイヤにおけるサプライチェーンの問題およびオフロード事業の直需市場における利益率を重視したことに影響を受けたものの、2019年の成長目標を確認
- 引き続き厳格な価格管理に牽引され、力強いミシュランブランドおよび持続的なプロダクトミックスの強化により下支えされ、価格ミックス効果は堅実な2.0%。
- 計画に沿って統合が進んでいる新規買収事業（Fenner および Camso）による力強い貢献。
- インドネシアの大手タイヤメーカーである Multistrada の買収。
- 有利に働いた為替効果（2.0%）。

最高経営責任者のジャン＝ドミニク・スナールは以下のように発言しています。「困難な市場環境において、私たちはグループの様々な経済セクターへのアピールによって得られた強靱な力を再び実証し、当社の2019年ガイダンスを確認することができました。また、第1四半期の売上高は最近買収した Camso および Fenner の主な貢献を反映しています。」

□ ガイダンスを確認

2019年、乗用車・ライトトラック用タイヤ市場は市販セグメントの緩やかな成長と直需セグメントの縮小という硬軟入り混じった状況になると思われます。トラック用タイヤ市場はやや縮小し、一方で、鉱山、航空機および二輪車用タイヤ市場は引き続き活況となる模様です。2019年4月の為替レートに基づいて推計すると、為替効果はセグメント営業利益に比較的に有利な影響を与えることが見込まれます。原材料コストの影響は現在マイナス1億ユーロ程度と推計されており、主に上半期の業績に影響を与えることとなります。

このような環境下で、ミシュランはグローバル市場トレンドに沿った販売量の成長、2018年の数値を上回るセグメント営業利益（為替レ

ート変動の影響を除外し、Camso および Fenner による推計 1 億 5,000 万ユーロの貢献を考慮前) および 14 億 5,000 万ユーロ
*を上回る構造的なフリーキャッシュフローという 2019 年の目標を確認しています。

* その内 1 億 5,000 万ユーロは IFRS 第 16 号適用によるものです。

第 1 四半期売上高の成長：

売上高 (単位：百万ユーロ)	2019 年 第 1 四半期	2018 年 第 1 四半期 ⁽¹⁾ 修正後	増減率%	2018 年 第 1 四半期 報告実績
報告セグメント 1：自動車および関連販売事業	2,788	2,783	+0.2%	2,772
報告セグメント 2：道路輸送および関連販売事業	1,550	1,472	+5.3%	1,368
報告セグメント 3：特殊製品および関連販売事業	1,471	963	52.8% ⁽²⁾	1,078
グループ合計	5,809	5,218	+11.3%	5,218

- (1) Camso 買収およびオフロード事業合併後、セグメントの構成に一部微細な調整を加えています。
(2) 連結範囲の変更 (Camso および Fenner の初回連結) による 48.2%のプラスの影響を含んでいます。

市場動向

● 乗用車・ライトトラック用タイヤ

第 1 四半期 2019 年/2018 年 (タイヤ本数ベース)	欧州 (ロシアお よび CIS* を含む)	欧州 (ロシアお よび CIS* を除く)	北米	中米	南米	アジア (インドを 除く)	アフリカ/イ ンド /中東	合計
直需市場	-5%	-5%	-5%**		-6%	-9%	-12%	-8%
市販市場	-2%	-1%	+5%	+1%	-5%	+1%	+1%	+1%

* トルコを含む

** 中米を含む

2019 年第 1 四半期の乗用車・ライトトラック用タイヤのグローバル直需市場および市販市場は、直需市場の需要の 8%下落により、2%縮小しました。

○ **直需市場**

- 欧州では、直需市場の需要は 2018 年第 4 四半期に始まった下落傾向が続き、第 1 四半期は 5%縮小しました。主な下落は西欧で起こっており、ドイツでは自動車メーカーの輸出が落ち込みました。
- 北米（中米を含む）では、第 1 四半期の需要は 5%減少しました。
- アジア（インドを除く）では、中国市場における 15%の下落と当地域のその他の市場でもやや落ち込んだことにより、第 1 四半期中需要は全体で 9%落ち込みました。
- 南米では、アルゼンチンの経済危機およびブラジルの不安定な経済環境により、需要は 3 月末で 6%の縮小となりました。
- アフリカ/インド/中東では、第 1 四半期の市場は 12%縮小しました。

○ **市販市場**

- 欧州では、第 1 四半期の市場は 2%落ち込みました。主にトルコで経済危機により需要が 13%下落したこと、ドイツ市場で 10%下落したことによるものです。イタリアおよびスペインの市販市場はやや拡大しましたが、一方でフランスおよび北欧の市場はそれぞれ 3%と 4%縮小しました。ブレグジット（英国の EU 離脱）後の影響についての懸念から、英国市場は 7%増加しました。
- 北米では需要は全体で 5%伸びました。米国市場は（新たな輸入関税導入の可能性に先駆けた輸入増加による）非プール市場における急増を反映して 5%拡大しましたが、一方で、カナダ市場は冬用タイヤの需要が低迷して 2%落ち込みました。
- アジア（インドを除く）では、第 1 四半期の市場はわずか 1%の伸びとなりました。中国市場は 2018 年第 3 および第 4 四半期に落ち込んだ後、3 月末には再び成長に転じました（2%増）。日本市場の下落（2%減）は韓国（6%増）およびインドネシア（2%増）の活発な需要によって一部相殺されました。
- 中米では第 1 四半期、市場はメキシコに牽引されてわずかながら 1%拡大しました。
- 南米では、アルゼンチンの経済危機（23%減）およびブラジルの需要低迷（2%減）の影響を大きく受けて、需要は当期中 5%縮小しました。
- アフリカ/インド/中東では、第 1 四半期、インド市場の力強い成長（7%増）が当地域のその他の下落を相殺して、市場は 1%伸びました。

● **トラック用タイヤ（ラジアルおよびバイアス）**

第 1 四半期 2019 年/2018 年 (タイヤ本数ベース)	欧州 (ロシアおよび CIS* を含む)	欧州 (ロシアおよび CIS* を除く)	北米	中米	南米	アジア (インドを除く)	アフリカ/インド /中東	合計
直需市場	-1%	-1%	+12%	-32%	+27%	+0%	+9%	+4%
市販市場	-5%	-3%	-7%	-7%	-0%	+0%	-0%	-2%

* トルコを含む

2019 年第 1 四半期に世界中で販売されたトラック用新品タイヤの本数は、直需市場の需要の継続的な成長（4%増）が市販市場の需要低迷（2%減）を相殺して、横ばいとなりました。

○ 直需市場

- 欧州では直需市場の需要は 1%減少しました。トルコの経済危機（11%減）と、スペイン（22%減）および英国（29%減）の市場下落の影響が、フランスおよびイタリアの市場成長（それぞれ 4%増、7%増）とポーランドの活発な需要（22%増）に部分的に相殺されました。
- 北米では、2018 年の 19%という成長に引き続いて、市場は力強く 12%拡大しました。
- アジア（インドを除く）では、第 1 四半期の市場は横ばいでした。中国では、米国との貿易戦争を背景に 2018 年下半年に 18%落ち込んだ後、第 1 四半期の直需市場の需要は安定しました（1%減）。当地域のその他の国々の需要は力強く伸び、日本で 5%、インドネシアで 10%および韓国で 6%増加しました。
- 南米では市場は回復を続けており、第 1 四半期はブラジルの力強い需要を背景に 27%成長しました。
- アフリカ／インド／中東の市場は、上昇基調の経済環境にあるインドの需要が 12%増加したことを反映して、9%伸びました。

○ 市販市場

- 欧州では、ポーランド（10%減）および東欧（10%減）の需要低迷、およびトルコの経済危機（23%減）の結果、市場は 5%縮小しました。当地域のその他の市場は全体でわずかに 1%拡大しました。
- 北米の需要は、主に非プール市場の落ち込みから、7%後退しました。ディーラーは新たな輸入関税の導入可能性に先駆けて 2018 年後半に中国製タイヤの輸入を大幅に増やした後、第 1 四半期は在庫削減を重視しました。
- アジア（インドを除く）では、第 1 四半期の市販市場は横ばいでした。中国市場は 2018 年下半年に 10%落ち込んだ後、当期中は横ばいでしたが、他の国々の需要は全体で 1%拡大しました。
- 中米では、市場はメキシコの需要が 10%落ち込んだことから 7%縮小しました。
- 南米では、ブラジル（2%増）およびコロンビア（11%増）の成長がアルゼンチン危機の自国需要に対する影響（26%減）を相殺して、第 1 四半期の市場は横ばいでした。
- アフリカ／インド／中東では、新品タイヤの需要は堅調に推移しました。

● 特殊タイヤ

- **鉱山用タイヤ**：鉱山用タイヤ市場では、引き続き海外および地域の鉱山会社からの需要が堅実に伸びました。
- **オフロードタイヤ**：農業用セグメントでは、北米の直需市場は急速な成長が続きましたが、欧州ではトルコの需要低迷により後退しました。市販市場の需要は欧州では微増しましたが、北米では不利な天候条件と農業収入の落ち込みにより下落しました。インフラ向けでは、需要はトルコを除き直需および市販両セグメントにおいて上昇基調が続きました。
- **二輪車用タイヤ**：欧州および北米のモーターサイクル用タイヤ市場では、季節変動があまり顕著でなかったことから成長は減速しました。通勤セグメントの需要は新興市場で引き続き極めて好調です。
- **航空機用タイヤ**：旅客輸送の持続的な増加に牽引されて、商用機用タイヤ市場は拡大を続け、ラジアルセグメントで特に顕著な増加が見られました。

ミシュランの売上高

- 連結売上高

(単位：百万ユーロ)	2019年第1四半期	
売上高	5,809	
2019年第1四半期対2018年第1四半期		
増減合計	+591	+11.3%
その内、販売量*	-25	-0.5%
価格ミックス	+104	+2.0%
為替効果	+103	+2.0%
連結範囲の変更	+409	+7.8%

*トベース

2019年第1四半期の売上高は、以下の要因により前年同期から11.3%増の58億900万ユーロとなりました。

- 特に乗用車・ライトトラック用タイヤ市場において顕著（マイナス2%の効果）だった販売量の減少による0.5%、2,500万ユーロの減少
- 有利に働いた価格ミックス効果による2.0%の増加。グループの厳格な価格管理を反映した価格により1.3%、プロダクトミックスの高級市場へのシフト継続によるミックス効果によりさらに0.7%の増加。
- 主に米ドル対ユーロの為替レートにより為替効果が有利に働き、2%の増加。
- 最近買収した企業（Fenner および Camso）の貢献がTCiの連結除外を一部相殺し、連結範囲の変更により7.8%の力強い増加。

● 報告セグメント別売上高

□ 自動車および関連販売事業

2019年第1四半期の売上高は、前年同期から概ね横ばいの27億8,800万ユーロとなりました。

直需需要の8%減少に打撃を受けて縮小した市場において、グループは販売量の減少を1.6%と限定的なものに留め、市場シェアを確保しました。価格ミックス効果は、厳格な価格管理を反映し、力強いミシュランブランドとプロダクトミックスの高級市場への継続的シフトを支えられてプラスに働きました。連結範囲の変更による効果は、TCiの連結除外によりマイナスとなりました。

□ 道路輸送および関連販売事業

第1四半期の売上高は前年同期から5.3%増の15億5,000万ユーロとなりました。

やや冷え込んでいる市場において、グループは引き続き売上高を伸ばし、新たなサービスオファーおよびソリューションの開発が功を奏し0.9%の増加を記録しました。堅実な価格ミックス効果は、価値創造を目指したセグメントの選択的アプローチを反映しました。

□ 特殊製品および関連販売事業

第1四半期の売上高は、主に新規買収企業（Camso および Fenner）の貢献により、前年同期から53%増の14億7,100万ユーロとなりました。

これらの買収分を除外すると、セグメントの基礎的売上高の伸びは堅実な価格ミックス効果および安定的な販売量と有利に働いた為替効果により4.6%でした。

- ▶ 鉱山用タイヤ：いくつかの物流の問題、積極的な価格方針および不利に働いた為替レートにもかかわらず、持続的な販売量の伸びのおかげで売上高は引き続き成長しました。
- ▶ オフロードタイヤ：販売量減少の影響—特に直需事業において利益率に重点をおいたことによる—がプラスの価格ミックスおよび為替効果によって相殺されて、売上高は横ばいでした。
- ▶ 二輪車用タイヤ：販売量は増加したものの売上高はやや縮小し、特に通勤セグメントでそれが顕著でした。グループはLevorinの統合を進めており、同社は極めて競争の激しい市場において非常に高い販売量を報告しています。
- ▶ 航空機用タイヤ：販売量の増加、効果的な価格戦略および有利に働いた為替レートによって売上高は引き続き伸びました。

2019年の業績ハイライト

- 2019年ミシュランガイド—フランス版が出版され、1つ星、2つ星、3つ星を新たに獲得した75店舗および女性シェフによる史上最多の新しい星付きレストランを含めた632店舗を掲載（2019年1月21日）
- 最も要求の厳しい自動車メーカー各社との提携により開発された2種類の最新MICHELIN Pilot Sport シリーズ、MICHELIN Pilot Sport 4 SUV および MICHELIN Pilot Sport Cup2 R をジュネーブの国際モーターショーにおいて発表（2019年3月5日）

- 急速に成長しているインドネシア市場の大手タイヤメーカーPT Multistrada Arah Sarana TBK の株式 88%を取得し（2019年3月8日）残りの株式の全部または一部について公開買付を開始（2019年4月16日）
- ミシュランはいつもの功績、特にグループの環境への取り組み、製品イノベーションおよび摩耗タイヤのパフォーマンスについての優れた業績を認められ、ドイツで行われた 2019 年タイヤ・テクノロジー・エキスポにおいて「タイヤメーカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞（2019年3月8日）
- フォルシアとミシュランは水素燃料電池システムの世界的大手となる合併会社設立のために提携（2019年3月11日）
- 新製品 MICHELIN Anakee Adventure モーターサイクル用タイヤを最もダイナミックで競争の激しい革新的市場の 1 つにおいて発表。（2019年3月21日）
- 戦略的選択を重視したスリムな構造を構築するために、ミシュラン経営評議会を変更（2019年3月25日）
- スペインのアルメリアでインバスター・デーを開催し、2019 年から 2023 年の間に実施予定の 5 億ユーロの株式買戻しプログラムを発表（2019年4月4日）

2019 年度ハイライトの全文はミシュランのウェブサイトでご覧になれます。 <https://www.michelin.com/en>